ゆうらいふ通信

2022年4月 発行

資格取得 おめでとうございます！

この１年に資格を取得された方です（順不同）

●介護支援専門員：吉田江里さん、田村正次さん
　明光ひとみさん
●介護福祉士：田村泰穂さん、殿城睦子さん、豊田高士さん
　岡田佳久さん（令和２年度合格）
●社会福祉士／認知症介護基礎研修：十二里茉莉子さん
●初任者研修：谷田麗子さん、中島裕美さん、堂本さくらさん
●実務者研修：原田裕希奈さん、殿城睦子さん
●福祉用具専門相談員／認知症実践者研修：土田知美さん



社会福祉士の十二里茉莉子さんと
介護支援専門員の田村正次さん

職員の資格取得を応援しています ゆうらいふの有資格者数

ケアマネジャー	17人
社会福祉士	8人
介護福祉士	48人
初任者研修・実務者研修	26人
生活支援サポーター	10人
看護師	28人
理学療法士・作業療法士	6人
歯科衛生士	3人
柔道整復師	1人
管理栄養士・栄養士	5人
保育士	22人
合　計	174人

（複数の資格を持つ職員もいます）

ウクライナのために募金活動を行いました

ロシアによるウクライナ侵攻のニュースを受け、職員が募金を開始。日本ユニセフ協会を通じ、ウクライナの子どもを守るための支援金寄付しました。（職員から46,192円、法人からも支援させていただき、合計10万円）継続して活動していきます。

新入職員のご紹介

小西 恭子さん	ゆうらいふナースステーション
中西 実保さん	リハビリサポートすいれん
外川 あゆみさん	リハビリサポートゆうらいふ
今村 恵子さん	保育所すいれん
小田 紗弥香さん	保育所すいれん
宮腰 優子さん	保育所かりん
今井 恵美さん	保育所かりん／ぐるーぷほーむ花梨

専門職によるコラムコーナー プロフェッショナル リレーコラム

Vol.15

介護福祉士
梅影（うめかげ） 美知子（みちこ）



介護の仕事を始めて約10年、ゆうらいふは入職して3年半になります。この仕事を始めたのは、脳梗塞で右半身麻痺になり寝たきりとなった父を在宅介護したことがきっかけです。約8ヶ月の在宅介護でしたが、その間訪問看護を初め色々な方々にお世話になり助けて頂きました。父の施設入所後に、お声かけ頂きデイサービスで働き始め、現在に至ります。辛いと思う事もありますが、毎日利用者の皆さんの笑顔に元気を頂いています。そして現在は認定介護福祉士を目指して頑張っているところです。



仕事以外では、学生時代して居たこともありバスケットボールが大好きで、お気に入りのチーム（沖縄）を追って観戦に出かけています。早く沖縄で応援出来る日が来るのが待ち遠しいです。

バトンを渡した人：土田 知美さん（介護福祉士） 2022年4月号登場

新規事業を開設します！

守山市石田町に今年12月オープン！

憩 icoi

らいふステーション 憩い

介護保険 地域密着型サービス
小規模多機能型居宅介護事業所





保育所かりんと保育所すいれんで修了式を行いました。
成長する子ども達の姿を家族とともに喜びました。



ゆうらいふ４ヶ所目となる新たな拠点が誕生します。
●看護・介護の多職種が常駐
●地域の交流スペース併設
介護の困りごとなど、気軽に相談していただけます。

トピックス

ゆうらいふの取り組みや、各事業所の活動、介護の情報など配信中です！

Find us on Facebook

- 新年度のごあいさつ
- 令和４年度の目標
- ゆうらいふ春のトピックス
- 職員紹介
- コラム「プロフェッショナル」 など

特定非営利活動法人ゆうらいふ
事務局
守山市立田町1231-4
TEL：077-585-4070
【Web】http://www.youlife.ne.jp
【メール】info@youlife.ne.jp

お気軽にお電話ください

ゆうらいふ ●居宅支援事業所 ●デイサービス ●総合事業 ●事務局
〒524-0214 守山市立田町1231-4 ☎077-585-4070

すいれん ●グループホーム ●デイサービス ●保育所
〒524-0001 守山市川田町1541-4 ☎077-581-4606

かりん 花梨 ●小規模多機能型居宅介護事業所 ●グループホーム ●事業所内保育所（認可） ●ナースステーション ●ヘルパーステーション ●定期巡回・随時訪問型訪問介護看護
〒524-0214 守山市立田町4135-1 ☎077-599-0531

銀座 ●なんでも相談 ほっとステーション
〒524-0021 守山市守山1丁目6-3 ☎077-583-8100

新年度のごあいさつ

理事長　**山田 亘宏**



令和 4 度初めにあたり、ごあいさつを申し上げます。

コロナウイルスの感染が世界に拡大を始めて 3 年目を迎え、国の内外を問わず多数の方々が感染され、亡くなっておられます。ゆうらいふでは利用者さま、職員を併せ陽性者が 30 数名に及びました。クラスターを起こすことなく収めることができましたが、利用者さまには大きなご迷惑をおかけいたしました。改めてお詫びを申し上げます。
まだまだ油断はできません。引き続き感染防止に努めてまいります。

- 今年度は 12 月に 4 つ目の拠点になる「らいふステーション憩い」を石田町の「老人憩いの家」の跡地に開設いたします。「小規模多機能サービス」として、ゆうらいふの理念“我が家で最期の時まで”を地域の皆さまと共に進めてまいります。近い将来、ケアマネと訪問看護・介護の拠点としても整備して参る計画です。

- またこの 4 月には、コロナ感染防止の観点から施設を移動していた「グループホームすいれん」と「小規模多機能サービス花梨」を、感染の減少を確認しつつ従前の場所に戻してまいります。利用者さまには慣れていただくまで、不安と不便をおかけしますが、ご理解をお願い申し上げます。職員も 1 日も早く、利用者様の安心の日常を目指して努めてまいります。

- 経営継承に関しては、幹部職が積極的に、日々具体的な事柄を実践すると共に、厳しい研修を重ねることにより、がんばっております。今回のコロナ感染にも厳しいものがあり、危機管理のよい経験をいたしました。皆さまにおかれても、温かい目を注ぎながら、時には厳しいご指導をお願いいたします。

- 更にゆうらいふ全体としては、一層のサービスの質の向上に向けて、職員が一丸となって日々研修に励み、利用者さまの満足度を上げてまいります。
その結果、利用者さまの延べ人数では 73,627 人（対前年 106%）の増加を計画いたしました。

どうか、本年度もご利用・ご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

春のトピックス

保育所すいれん・保育所かりんで修了式を行いました



３月 26 日（土）に令和３年度修了式を行いました。コロナ感染症が収まらない中での開催となったため、例年とは進め方を変え、“一人一人を大切に”各ご家庭と保育者で修了のお祝いをさせていただきました。いつもと少し違う雰囲気に子どもたちもちょっぴり緊張していましたが、一人一人の成長した姿、保育所生活をご家族と一緒に振り返ることができ、とても素敵な時間となりました。

保育所かりん　渡部幸恵



８名の２歳児のみなさん、修了おめでとうございます。式では、「ママのお顔かいたよ」と照れながらお花のプレゼントしました。そして、みんなで作った『なかよしの木』に貼って、お父さん・お母さん・わたしの笑顔の花を満開にしてくれました。いつも一緒に過ごしてきたお友だちのお花が並ぶ様子に心が温まります。ひとりひとりを大切に思いながらのお祝いの式となり、素敵な時間を過ごすことができました。

保育所すいれん　平井周子

専務理事
山田 登喜子



22 年前、介護保険法の施行と同時に NPO 法人ゆうらいふを設立しました。目的はデンマークで学んだ“人が人として自分らしく生ききる事のできる地域づくり”です。そのためには、医療職・介護職の共同サービスが生活の場で必要です。利用者（市民）が最期の時まで誇り高く日々を過ごすためには、利用者だけでなく、支える医療・介護職の方々もプライドをもって自分らしく日々を過ごすことが必要です。にも関わらず、日本の社会では『介護は 3K 職場』『誰もができる仕事』『下層の人が仕方なくつく職場』と口にする人々がいます。私も「何でそんな仕事しているの？」と問われたことがあります。私はこの仕事が好きで、使命と感じて 50 年近く研鑽しています。
介護職は、医療職に劣らず多くの資格を取り日々研鑽し続ける職業です。利用者も様々で対人サービスは客室乗務員以上の教養が問われます。
利用者の意識も高まり Help me do it myself：私の生活自立を助けてください！と対価を払って『自律生活』ができるよう活用する人が増えています。介護する人・される人”ではなく、共に気持ちを解りあえるサービスであって欲しいと願っています。誰もが Life worth living：生きるに値する人生を！を望んでいます。利用者も職員も“自分で考え･選び･決め”日々を自分らしく生きてほしいと願います。市民の方々の想いの変化に沿いながらＮＰＯゆうらいふは成長し続けます。

常務理事
津田 征志　**杉若 奈津美**





経営者を 1 年経験して情報収集力・提案力・交渉力など未熟さを実感しながらの日々です。資格取得と向上のため、マネジメント研修を継続します。また中長期計画の策定を通し今後のゆうらいふについての議論・実践の初年度とします。人事評価制度の見直しを行い、職員ひとりひとりの知恵と経験を活かせるよう努めて参ります。



花梨事業部 部長　深田 知洋江
ゆうらいふの理念である「住み慣れた地域で最期の時まで」の真髄は移転後も変わりません。利用者本位のサービスの実践を叶えるために、更にチーム力を高めることのできる人材育成に努めて参ります。



相談事業部 部長　矢原 生子
利用者自身が自立 (自律) して暮らせる相談支援を実践するため、すべてのケアマネジャーの質の向上・事務業務の効率化に取り組みます。病院・主治医とのカンファレンスや担当者会議への参画等で質の向上に努めます。



訪問事業部 部長　渕上 操
『地域に看護師がいると安心』を届けるために病院・主治医や多職種での連携と迅速な対応が大切です。“我が家で最後まで”を支援し、“地域に根ざした信頼される訪問看護ステーション”を目指します！



訪問事業部 副部長　下野 達郎
高齢者世帯や独居など家族介護力が低下している中、我が家での暮らしの継続を希望する人が増えています。『地域で選ばれるステーション』を目指すため、ケアマネジャー、訪問看護師と連携を強化し、質の向上に努めてまいります。



すいれん事業部 部長　吉田 江里
“最期の時まで自分らしく自律した生活”を求める人が増えています。利用者お一人お一人の過去の暮らしや思いを知り、自分らしく過ごせる場所つくりを、デイサービスとグループホームが一体となって取り組んでまいります。



ゆうらいふ事業部 部長　武田 美津子
利用者自身が我が家での生活の継続ができるよう、さまざまな活動場面で選択肢を提示し意向を大切にします。自ら選んで取り組む事で、自分らしくいきいきと過ごせるよう支援します。また、職員の観察力を伸ばしていきます。



自立（自律）支援トータルアドバイザー　若山 晃
“自分の事は自分でして暮らしたい！”との思いを持つ方が増えています。Help me do it myself の実践を基本にしたサービス提供を強化します。専門知識を活用し職員とともに自律支援を行います。



法人内役員企画調整担当　山瀬 芳樹
新規事業の補助金準備や今後の企画運営を担当いたします。また、今後のゆうらいふの未来を見据えた情報の収集、集めた情報を分析し活用してまいります。



保育所かりん 所長　渡部 幸恵
「地域と共に育ちあえる保育所」をめざし地域への活動も積極的に取り組んでまいります。子どもたちや保護者の皆様に満足してもらえるよう保育を工夫し、保護者が安心して働ける体制を整えていきます。



保育所すいれん 所長　平井 周子
保護者が日常で感じる楽しみや心配事を共有し、お子さま一人一人の成長を見守ります。今年度のテーマは『絵本』。絵本のメッセージを読み取りながらお子さまとのふれあいを大切に、保育してまいります。